



長野県立総合

第5号 平成28年9月発行

リハビリテーションセンターだより

目次

「よりそい、みまもり、ゆとりの看護」を大切に……………	1
総合リハビリテーションセンター祭開催のお知らせ……………	2
放射線技術科の紹介……………	3
外来診療案内……………	4

発行：長野県立総合
リハビリテーションセンター
編集：広報紙委員会
住所：長野市下駒沢618-1
TEL：026-296-3953
FAX：026-296-3943
URL：<http://www.pref.nagano.lg.jp/rehabili/index.html>

「よりそい、みまもり、ゆとりの看護」を大切に

看護部長 中島 明美

当センターには病院、身体障がい者支援施設、補装具制作、更生相談室の4部門があり、その中の病院と支援施設に合わせて54名の看護師がいます。看護部それぞれの部署の紹介と看護師の役割を紹介させていただきます。

<1階病棟> 40床のリハビリ病棟で神経内科、整形外科のリハビリ訓練目的に患者さんが入院されます。突然の病気やケガで身体の一部に障がいが残った方が、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）といった専門職員から一人ひとりにあったリハビリを受け、看護師が入院生活の中での繰返しを見守り、「できた」を一緒に喜ぶのはうれしいことです。入院期間が数か月になることから、季節を感じていただけるようにクリスマス会や七夕会などの手作りイベントや飾りつけをしています。高次脳機能障害患者・家族の集いや脊髄損傷患者学習会を、ご自身の病気や障がいのことを知り、互いに悩みや想いを話す機会となるよう年に4回開催しています。

<2階病棟> 主に関節、脊椎の整形外科手術をされる方が入院される40床の病棟です。週に約10件の予定手術があり、患者さんの手術前後の痛さや辛さに寄り添い、麻酔や手術への不安が軽減できるように、手術後は順調にリハビリが進むように努めています。入院される方、退院される方、手術をされる方と病棟は大変慌ただしいですが、笑顔で退院される患者さんを当日勤務する看護師がお見送りさせていただく時がうれしいです。

<手術室> 人工関節置換手術や脊椎疾患手術を主に行っています。7名の看護師は安全な麻酔と手術のために準備をすることはもちろん、手術前日に病棟へ看護師が行きお話しをさせていただき、手術当日は笑顔でお会いできるようにしています。

<外来> 3名の看護師で関節、脊椎疾患それぞれの整形外科、神経内科、麻酔科、泌尿器科外来診察の対応をしています。整形外科の手術が決まると検査の準備、薬の確認、入院、手術までに注意していただくことを分かり易く説明しています。高次脳機能障害患者さんの妻の会も年4回開催しています。

<支援施設健康管理室> 家や地域に戻られる前に訓練をされている利用者さんが元気に過ごせるよう、また退所後も健康に生活するように、生活習慣の見直しや日々の健康管理の具体的な方法を利用者、家族の皆さんと一緒に考え行動できるよう支援しています。

部署ごとに違いはありますが「よりそい、みまもり、ゆとりの看護」をモットーに、患者・利用者の皆さんの想いを大切にすることを心がけています。

総合リハビリテーションセンター祭開催のお知らせ

「もっと知ってみよう リハビリセンター」

をテーマに、下記の日程で行ないます。

期日：平成28年10月29日（土）

時間：10時から15時まで

場所：長野県立総合リハビリテーションセンター

内容の一部をご紹介します

☆ 医療講演（13：30～14：30）

「ロコモを知ろう！」

長野県立総合リハビリテーションセンター

所長 木下 久敏

いつまでも自分の足で歩き続けていくために、
運動器を長持ちさせ、ロコモを予防し、
健康寿命を延ばしていきましょう。



長野県PRキャラクター
「アルクマ」
©長野県アルクマ

☆ バザー（10：30～13：30）

☆ 体験：「そば打ち実演・見て体験」 「君は外科医だ」

「薬局・検査のお仕事しませんか？」 「盲導犬と歩いてみよう♪」

☆ 体感：「痛み治療サービス ラドン浴」 「ロコモチャレンジ 2016」

「JAZZ Live in リハビリテーションセンター」 「高次脳 わくわくサロン」

☆ ラーメン屋さん・障がい者支援施設の出店 など

今年も、皆様にリハビリテーションセンターをより知っていただけるよう、様々な企画を準備してお待ちしております。是非おいでください。

- ※ センター祭の会場は、当センターのみとなります。
- ※ お車でお越しの際は、当センターの駐車場をご利用ください。
- ※ サンアップルへの駐車はご遠慮ください。

「放射線技術科の紹介」

医務部 放射線技術科
肥後 拓也

みなさんは、「放射線」と言うときどのようなイメージをお持ちでしょうか。もしかしたら近年の地震や事故の影響で、放射線に対する悪いイメージをお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。確かに放射線には体に悪い、被ばくする、怖いなどのマイナスな部分があることは間違いありませんが、それ以上にプラスな面も多くあります。とりわけ病院において放射線検査は必要不可欠です。体内を画像化することで痛みの原因を特定し、手術の計画を立てる際にも様々な種類の医療画像が必要となってきます。その放射線の正しい知識をもって、安全かつ適正に使用するのが私達放射線技師の仕事です。

当センターには大まかに分けて4種類の検査機器があります。今回は簡単ではありますがその4種類についてご紹介したいと思います。

総合リハビリテーションセンター 放射線機器の紹介

一般撮影装置

最も単純かつ基本的な検査です。検査の第一選択として用いられることが多く、骨の描出に優れているため骨折や骨変形を明瞭に写すことができます。



腰椎正面



装置画像

X線TV装置

あらゆる方向から放射線を照射し人体の透過像を動画として記録できる装置です。肉眼では見えない神経根など微細な部位を放射線の透視下で直接穿刺することができます。



神経根ブロック



装置画像

CT装置

360°方向から放射線を照射し人体の断面像を得ることのできる装置です。撮影後に画像処理を施すことで任意の断面像を得ることができ、3D的な画像を作成する事もできます。



腰椎 3D



装置画像

MRI装置

当科の中で唯一放射線を使用せず撮影する装置です。非常に強力な磁力を用いて画像を作成します。CT等では描出できない筋肉や脂肪、脊髄腔、腱、靭帯などの軟部組織を描出するのに非常に優れています。



肩関節



装置画像

以上のように放射線検査には様々な種類があります。また今年度中には新しく骨密度測定装置が導入される予定です。より一層の健康維持、促進のためにこれからも安全安心の検査をご提供していきたいと思っておりますので今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

週間外来診療案内

(平成 28 年 9 月現在)

担当医師	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
整形外科										
木下 久敏			○		○				○	○ 紹介状有
清野 良文	○	○ 紹介状有					○			
立岩 裕			○		○				○	○ 紹介状有
上條 哲義	○	○ 紹介状有					○			
依田 功			○		○				○	○ 紹介状有
大塚 訓喜	月 1 回									
神経内科・内科										
田丸 冬彦	○				○		○	○		
麻酔科										
笠間 進				○					○	
泌尿器科										
井川 靖彦									月 2 回	

* 診療時間：午前 9:00～12:00、午後 13:00～16:00

- ◎ 外来診療は予約制です。
- ◎ 当センターを初めて受診される方は、事前にお電話等でご相談ください。
- ◎ 当センターは紹介状が無くても受診していただけますが、整形外科につきましては、月曜日と金曜日の午後は専門外来のため紹介状が必要となります。

電話による診察予約受付時間	月曜日～金曜日：午後 1 時～午後 4 時
電話番号	(026) 296 - 3953 (代表)
備考	土・日・祝祭日は診察予約の受付を行っていません。

当センターの更生相談室では、『医療・福祉なんでも相談』として、看護師やケースワーカーがさまざまな相談に応じています。ご心配なこと、悩んでいること、気になること、お困りになっていることなど、何でもご相談ください。

- ◎ 当センターでは、障害者支援施設部門のニュースレター「リハビリ通信」も年 2 回発行しています。(最近の「リハビリ通信」は、当センターホームページに掲載していますのでご覧ください。)